

大谷婦人会

すみれ



私に届いたお念仏を
すみれちゃんに



2015年度 大谷婦人会全国大会 2015年12月9日 開催 (講師 東京教区長願寺住職 海 法龍 師)

全国各地から500人を超える会員の皆様のご参加をいただき開催された全国大会。私達、大谷婦人会会員一人ひとりの活動の拠点であり情報発信基地である真宗教化センターで新装相成った大谷ホールではじめての全国大会。

筆舌に尽くせぬ感動と感謝そして笑顔と高揚が会場全体を覆った全国大会。

待ちに待った大谷ホール。新たな出発です。「とどけよう ナンマンガブ」確かな歩みを、同じ願いをもって全国の会員皆様と手を取り合って出発しましょう。

浄土の諸仏となって今も私達を真宗のみ教えにお導き下さっている先達の方々がいる。

さらに未来において本願念仏のみ教えを受け取り受け伝えて下さる子や孫がい

る。そして『今、南無阿弥陀仏に生きる』私がいる。

誰一人欠く事の出来ない多くの方々が全国大会に集いました。

今なすべきことの一番大事なことを考える時と場をいただきました。後生の一大事なのだと思います。

海先生のお話を通して改めて『今 南無阿弥陀仏に生きる』という事を蓮如上人御一代記聞書

『弥陀をたのめば、南無阿弥陀仏の主になるなり。南無阿弥陀仏の主に成るといふは、信心をうることなりと云々 また、当流の真実の宝と云うは、南無阿弥陀仏、これ、一念の信心なりと云々』

というお言葉と合致した不思議さに驚きを感じた意義ある大会でした。

大谷婦人会委員長 宮本 春美



すごいたくさん
の人たちね!



司会者の皆さんにも
頑張ってもらいました





2015年度委員協議会開催

2015年11月16日 於・真宗教化センター「大谷ホール」

委員21名と監事2名が出席。今後の大谷婦人会事業の聞き取りを行いました。特に次年度全国大会開催にむけた意見聴取を受けたところ、本大会とあわせて本山の報恩講にお参りしたいという会員の要望が多く出され、今後積極的に会員の声を聞き、計画をたてていきたい等と話し合いがされました。



大谷婦人会監事 吉藤 佳子



金沢教区連絡協議会報恩講 (講師 大谷大学名誉教授 大桑 斉 師)

2015年9月18日 開催

私にとりましては6度目の連絡協議会の報恩講で、金沢教区合唱団「蓮」の皆様による音楽法要の後、大谷大学名誉教授の大桑斉先生に「金沢別院と教如上人」と題してお話をいただきました。

いつもとは違う雰囲気、歴史的な観点から別院の存在意義や教如上人の足跡を学びました。知っているお寺の名前もいくつか出て興味津々でございましたが、時間が一時間では短く感じました。先生は母の同級生と聞いていたので親しみも湧き、若々しさにビックリいたしました。

いつも素敵な先生のお話を聞くことができるので毎年楽しみにしています。この輪がさらに広がる事を念じております。



北陸南部ブロック 新谷 久美子



小松教区連絡協議会報恩講 (講師 能登教区専勝寺前住職 佐竹 通 師)

2015年9月26日 開催



金沢教区も小松教区もたくさんの会員方でお勤めしました!



聖人の教えに出会い人々が寄り合い共に聞法する17支部、会員380名余りの参集の中、報恩講が勤まりました。正信偈のお勤め、講師の先生のご法話に笑い、涙し、深くうなづかされる、私が唯一素直に自分と向き合える一時です。お昼の休憩時間には会所である小松教務所で書籍販売を致しました。「じいさんのお土産や」と小冊子を求めて下さったおばあさんの温かな言葉と笑顔、私に何よりも尊いお土産を頂きました。

北海道連合会 竹内 亮子



北海道連合会「秋の研修会」(講師 東京教区蓮光寺住職 本多 雅人 師)

2015年9月29日～30日 開催

「とどけよう ナンマンガブ」のテーマのもと『現代における真宗寺院の存在意義』と題して、本多雅人師より講義をいただき、初日の班別座談では、師が提示された「直葬・一日葬～葬儀の商品化」について多くの意見が出ました。

二日目、宗教離れが加速している今、開催要項に示す如くに「手渡されたお念仏を、大切な人(あなた)に手渡す事が私達の使命ではないでしょうか」と総括され閉講いたしました。

会場は東本願寺青少年研修センター、支部長の出席は52名でした。



とどかな～?
ナンマンガブ



高岡教区城端支部大会(会長巡回) (講師 金沢教区圓證寺衆徒 荒木 範夫 師)

2015年10月10日 開催

宗祖親鸞聖人七百五十回・教如上人四百回御遠忌法要が、修復された城端別院本堂で、10月7日から11日迄の期間厳修されました。

10月10日、会長ご臨席のもと支部大会が行われご挨拶を賜りました。支部より活動報告、大正琴、会員100名が参拝の方々と一体となり仏教讃歌を合唱しました。ありがたさと感動で胸がいっぱいになりました。

講演では「生活の中のお念仏」と題しての法話をお聞きし、念仏で始まり念仏で終わる事の大切さをいただきました。

会員の皆様の協力により、大会も無事に終わりましたことに感謝しております。

今後も聞法の方が広がりますように。



東海ブロック 本多 恭代



岡崎教区西圓寺支部報恩講(会長巡回) (講師 岡崎教区長壽寺住職 和田 純悟 師)

2015年11月4日 開催



本堂の荘厳も整い、秋晴れの穏やかな日。60年ぶりに大谷婦人会会長をお迎えし、会員をはじめ準備に携わった方々と共に勤めいたしました。

法話は和田師より、人生にとって大きな出来事である葬儀に拝聴する「白骨の御文」についてお話いただきました。長年様々な方面から支えて下さった会員のお顔があり、見回すとこの日を迎えられた喜びで満ち溢れていました。これからもお念仏が後世に繋がることを願うばかりです。



支部の会員
お一人おひとりにとって、
とても特別な
一日になりました。

西日本ブロック 堀 千月



お内仏報恩講

2015年12月10日 開催 (講師 四国教区善照寺住職 真城 義磨 師)

新年初会

2016年 1月10日 開催 (講師 樹洩陽舎主宰 栖雲 深泥 師)

真宗教化センター「すみれの間」に於いて、会長・顧問・委員長ご出席のもと、お内仏報恩講厳修後、真城師より「帰命無量寿如来」と題したご法話をいただきました。また新年初会では、会長をはじめ会員の皆様と昼食を共にし、親睦を深めました。その後すみれの間に於いて会長の新年のご挨拶、栖雲師によるご法話「汝起ちて」を聴聞後、委員長より今後大谷婦人会の活動を共にして下さる門首後継者大谷暢裕鍵役の夫人、大谷サチカ様のご紹介がありました。これからも一緒に、様々な聞法場に参加させていただきたいと思っております。



◆ 畠中光享画伯より絵画を寄贈いただきました ◆

夜が明けると朝が来て日が昇る。当たり前のことが平和で、有難いと思います。ガンジス河は、西から東のベンガル湾へとインドを横断して流れていますが、ヒンドゥ教の聖地ベナレスでは、唯一南から北へと流れています。市街は西側にあり、その河岸から、東から昇る太陽に向かって合掌しお祈りします。太陽(スーリア)に合掌するのはベナレスに限った事ではなくどこにおいても同じです。阿弥陀さまも、その光の象徴で願ひであり、自然に合掌する生活を心がけています。「聞法一路」のもと合掌を次世代に伝えていくことを願ひとする大谷婦人会を想いながら描きました。(畠中光享)



聞法誌『花すみれ』表紙絵やクリアファイル等に美しい絵画を提供いただいている畠中光享画伯より、昨年11月1日、絵画「朝の祈り」を寄贈いただきました。真宗教化センター内の大谷婦人会会長室にかけさせていただきます。センターご来館の際にぜひご覧ください。

◆ 東北被災地訪問

2016年3月28日(月)～30日(水)〔2泊3日〕

東日本大震災が発生してから5年が経とうとしていますが、今も仮設住宅にお住まいの方、避難を余儀なくされている方が非常に多く、まだまだ終息したとはいえません。特に福島第一原発による放射能汚染に関しては、原発から半径20km圏内は警戒区域で居住することができず、未だ深刻な問題です。

このたび3日間にわたり、原発から半径23km圏内にある原町別院の大谷婦人会支部をはじめ、石巻地区等を会員有志と訪問します。

お問い合わせは、大谷婦人会事務局まで。

『やさしい法話シリーズ』No.17発行

毎年発行し、好評をいただいております大谷婦人会の「やさしい法話シリーズ」が発行されました。今年度は全国支部長・役員研修会における佐竹通師(能登教区専勝寺前住職)のご法話「宗(よりどころ)の回復」を加筆修正いただきました。

私たちは「よりどころ」を持って生きているでしょうか。そんなことは微塵にも思わず、日々の生活に翻弄され、苦しみ悩んでいるのが現状です。この冊子で著者は「よりどころ」に出会うことの大切さを、例え話を紹介しながら分かりやすく語りかけられています。

1部130円(税込・送料別)



最新刊!!
仏事、聞法会の記念品や
お寺の施本に最適ね!



お申し込み、お問い合わせ：大谷婦人会事務局 TEL.075-371-6181

なむあみだぶつ
南無阿弥陀仏をとなくれば

たけてん だいまおう
他化天の大魔王

しゃかむに
釈迦牟尼仏のみまえにて

まもらんとこそちかいしか

『浄土和讃』真宗聖典488

編集後記

(伊勢副委員長)

上半期の活動をお知らせします。全国大会に参加できなかった会員の皆様にもお伝えしたく写真を多く取り入れました。定員以上参集された皆様には、全国大会の感動を改めて感じられることと思います。

念仏の声が聞かれなくなった今、世間では事件がおき、命の大切さはどこへいってしまったのか。私たちができることは「とどけようナンマダブ」を『聞法一路』の姿勢で伝えつづけていくことは...